

# ふるさと発見！（小・中学生向け）

## いどおり せいじょうがくふ 井通・青城学府

〈 学区・世帯数・人口 〉 令和2年12月末現在

とよだみなみ 豊田南小学校区	約3,400世帯	約8,200人
せいじょう 青城小学校区	約3,600世帯	約9,100人
合計	約7,000世帯	約17,300人

豊田南小学校通学区：小立野、上新屋、森岡、弥藤太島、上万能、長森、一言の一部、豊田西之島、源平新田、森下、下万能の一部

青城小学校通学区：宮之いち色、中田、気子島、海老塚、笹原島、立野、下万能の一部、森本、上本郷、下本郷、赤池

井通・青城学府は、豊田南小学校の通学区と、青城小学校の通学区をあわせた地域から成り立ちます。井通は昔「井」と呼ばれた寺谷用水路が、村の中心を通っていることから命名されました。

また青城は西之島学校を築いた熊谷敬三の号（別名）より名付けられ、青城小学校の校名に残されています。

### ● 一言坂と挑灯野の古戦場 → ① ② 武将たちの戦いを知ろう！

1573（元龜3）年、浜松城を出た徳川家康は、武田信玄の軍勢と一言坂で戦いました。この時、徳川方の本多忠勝は軍の最後尾で防戦しました。忠勝の奮戦は実にめざましく、武田軍もこれをほめたたえたと伝わっています。さらに家康は上万能の深い沼地に布の橋をかけ、近くの松林にたくさんの提灯とノボリをかかげて、敵をおびきよせました。武田軍は沼地でたくさんの兵を失い、後にそこは「提灯野」（現在は「挑灯野」と名付けられました）

この戦いに苦戦した家康は、一生に一度、一言だけ願いを聞いてくださるという近くの観音様に祈願したところ、無事浜松城へ帰還することができました。そこでこの観音様のある村を、一言村と呼ぶようになったといわれています。

★一言坂や挑灯野について調べるには

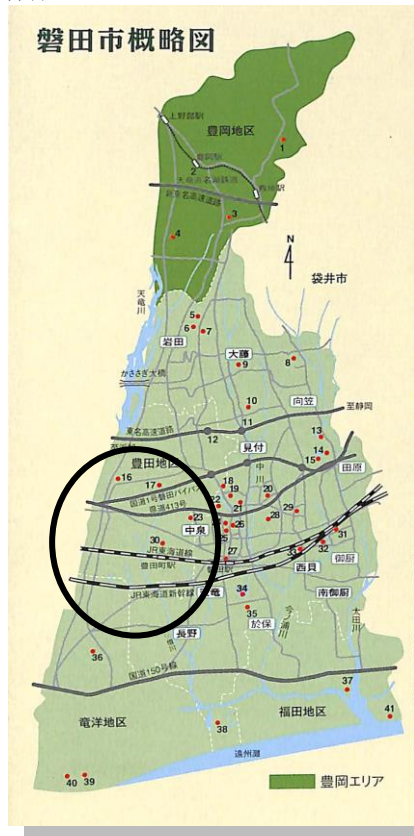
- ・『町内史跡めぐり』（全館）
- ・『いわたに住みたくなる本 続』（全館）
- ・『ふるさと豊田写真集』（全館）
- ・『豊田歴史の玉手箱』（全館）
- ・『磐田ものがたり』（全館）
- ・磐田市立図書館（小・中学生向け）資料案内「磐田を知りたい！調べたい！磐田の戦国武将物語」（全館）

### ● 一言山 智恩齋 → ③ 願いをかなえた観音様

一言坂の戦いの時、家康の祈願がかなって戦いが有利になったといわれる一言観音は、現在、智恩齋の山門の西側に安置されています。家康はこの一言観音のご利益によって救われた恩返しに、1648（慶安元）年、「知恩齋」（現在は「智恩齋」）という寺名を贈り、朱印8石を与えたということです。

★智恩齋について調べるには

- ・『磐南の寺院』（全館）
- ・『いわたに住みたくなる本 続』（全館）
- ・『ふるさと豊田写真集』（全館）
- ・『町内史跡めぐり』（全館）



井通・青城学府には、古戦場など歴史をしのぶ史跡がたくさんあるよ。一方では国道一号線が通り、JR 豊田町駅を中心に商業施設や、大規模な文化施設もあるにぎやかな場所。多くの企業や工場も進出して、日々発展を続けているよ。今と昔が交わる地域、井通・青城学府について調べてみよう。

★井通・青城学府をくわしく調べるには

- ・『豊田町誌 通史編』（全館）
- ・『ふるさと豊田』（全館）
- ・磐田市ホームページ <https://www.city.iwata.shizuoka.jp/>



### ● 郷土の偉人 熊谷敬三（青城） → ④ ⑤ 西之島学校や若宮八幡宮

1875（明治8）年10月、熊谷敬三の尽力により、洋風木造校舎の西之島学校が完成しました。当時の校舎の様子は、市指定文化財、「絹本着色西之島学校図」に伺い知ることができます。さらに熊谷は28カ村の神社を森下に集めるように協議し、社殿を新築して郷社としました。これが仁徳天皇、応神天皇、神功皇后を祭神とする若宮八幡宮です。熊谷敬三は後に青城と名のりました。彼の功績をたたえ、1895（明治28）年に記念碑が建立され、豊田南小学校校門の近くに現存します。

★熊谷敬三について調べるには

- ・『わが心の母校』（全館）
- ・『解説 旧見付学校 改訂版』（全館）
- ・『磐田の近代教育』（全館）
- ・『ふるさと豊田 写真集』（全館）
- ・『ふる里の石碑』（全館）
- ・『磐田の文化財』（全館）
- ・『わたしたちの磐田』（全館）
- ・「磐田の著名人」（磐田市立図書館 HP）
- ・磐田市立図書館（小・中学生向け）資料案内「磐田を知りたい！調べたい！磐田の学校の歴史（遠州三大学校）」（全館）



### ● 豊田町駅周辺の開発や文化施設の充実 → ⑥ ⑦ ⑧ 主な施設の紹介

1991（平成3）年に豊田町駅が完成しました。その後たくさんの商業施設や専門学校、住宅街等の建設で駅周辺の都市化が進んでいます。

香りの博物館や新造形創造館など、文化施設も充実しています。また、2019（令和元）年から工事が始まった磐田市文化会館（仮称）は2022（令和4）年に完成する予定です。

駅前から池田の行興寺まで、文化施設や旧跡を散策して巡る「藤と香りの散歩道」も整備されています。

★豊田町駅周辺や施設について調べるには

- ・『時の風景 豊田町物語』（全館）
- ・『わたしたちの豊田町』（福田）
- ・『豊田 歴史の玉手箱』（全館）
- ・「合併五十周年記念誌 ありがとう豊田町—そして未来へ」（中央・福田・豊岡）
- ・「磐田市トラベルバンク」（全館）
- ・「磐田市 HP」

<https://www.city.iwata.shizuoka.jp/>